

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより

かなざわ

第211号 令和7年4月25日



4月1日付けで金沢支援学校長に着任しました、柏木雅彦(かしわぎまさひこ)です。本校は、今年度で開校から19年目になりました。これまでの実績の重みを大切にし、引き続き、共生社会の実現に向け、地域とともに、児童・生徒の自立と社会参加を目指して、一人ひとりの教育的ニーズ応じた教育を進めていきたいと存じます。どうぞよろしくお願ひします。

さて、令和7年度がスタートしましたが、今年度は、肢体不自由教育部門、小、中、高等部、知的障害教育部門、小、中、高等部の全校で、334名の児童生徒でスタートしました。学校教育目標を「子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを受け止め、地域との協働を通して、自立と社会参加の基盤となる生きる力を育む」とし、児童・生徒の皆さんに、笑顔で、安全に安心して学校生活を送ることができるよう、職員が一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



入学式・始業式を行いました

4月7日(月)、令和7年度入学式・始業式を行いました。今年度は、96名の新入生が入学し、1名の転入生を迎えるました。校長から、次のような言葉を送りました。

(入学式)新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。職員一同、皆さんを、心から歓迎いたします。入学する皆さんには、金沢支援学校で、学校生活を送る上で、お願いしたいことがあります。それは、やさしい心を持ってほしいこと、人を大切にしてほしいことです。笑顔で優しい心をもって学校生活を送ってください。また、皆さんには、これからたくさんのこと経験し、学び、成長していく喜びをたくさん味わってほしいと願っています。そのためには、自分一人でできることを一つでも多く増やしていってほしいと思います。はじめは難しいことでも、練習や工夫をして、少しずつできることを増やしていってください。失敗してもいいですから、それにくじけず頑張ってみてください。きっと先生方全員が皆さんを応援してくれます。新入生のみなさんが、これから健康に過ごし、自分の力を発揮して充実した楽しい毎日を送ることを期待します。

(始業式)皆さんには、新しい学年になり、新たな気持ちでスタートしてほしいと思いますが、改めて、校長先生から3つのお願ひをします。一つ目は、自分なりの方法でいさつをしてほしいということです。いさつは、周りの人をうれしい気持ちにさせ、元気にしてくれるもので、自分から進んでいさつをすることができるようにしてください。二つ目は、目標を決めてほしいということです。目標を決め、目標に向かって努力することが、皆さん一人ひとりの力になります。ちょっと無理をするくらいでいいので、皆さんに、さらに一步成長するための目標を決めてください。三つめは、自分でできることは自分でやれるようにしてほしいということです。はじめは難しいことでも、練習や工夫をして、少しずつできることを増やしていってください。失敗してもいいですから、それにくじけず粘り強く続けてください。そうすればきっと大きな成長につながります。今年度も、明るく元気に楽しく学校生活を送ることができるようにしてください。



(校長)